3D フラワーコースター

～作り方～

ver.2025.1.31

エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「主剤」と「硬化剤」の2液を混ぜて
化学反応により硬化させる樹脂のこと

－－－－－－－－－※硬化不良を防ぐ※－－－－－－－－－

注意点①
比率を間違えない

注意点②
よく混ぜる

※取り扱う際※

★3種類のレジン★

波専用レジン

混合比 2：1
主剤　硬化剤

硬化時間 25℃ 2日間

適応作品 波アート等の薄い作品

クリスタルモールドレジン

混合比 3：1
主剤　硬化剤

硬化時間 23℃ 3日間

適応作品 トレーやキューブ等の分厚い作品

コーティングレジン

混合比 2：1
主剤　硬化剤

硬化時間 23℃ 2日間

使用用途 作品のコーティング

材料

■波専用レジン　■着色剤(エポキシアートキットにはアクリル絵の具在中)
■ガラスフレーク　■ラメ

道具

□電子スケール　□ヒートガン　□非接触型温度計　□竹串　□混ぜ棒(太・細)
□はさみ　□ビニール手袋　□紙コップ(205ml・65ml)　□チャック袋(B9)
□ガムテープ □フチ波モールド □下書きシート □白紙 □ピンセット □カバー箱

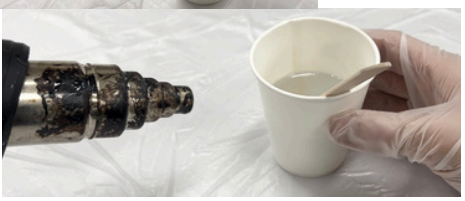
★作り方★

①レジンを混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジンを混ぜる。
レジン使用量120gの場合(主剤80g:硬化剤40g)
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。

②ガムテープでモールドの埃を取りながらキズがないかを確認する

埃・キズが残るとそのまま固まってしまったり痕になってしまう為、要確認する。
また、曇ったモールドを使用すると、完成後も曇ってしまうので劣化したモールドは交換する。



③レジンの粘度をつける

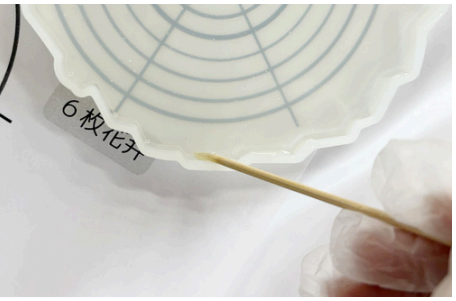
レジンの硬化熱でレジン温度が42-45度くらいになるまで放置する。
※寒いとレジンの硬化は遅く、暑いと硬化が早い
※目安：室温25度で15分～20分程度
化学反応が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジンを温める。
その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、
1～2分後に計測。温度が基準に入ったら次の工程へ。

④レジンを取り分ける

レジンを紙コップ(小)2つに各10gずつ取り分ける。
※残りのレジンに、お好みでラメを混ぜてもOK
※ラメは粒が大きいものは沈んでしまうので、細かいものを選ぶ
※ラメは無くても良いが、空白が目立つので入れるのがおすすめ

⑤残りのレジンをモールドに流す

下書きシートの上にモールドを置いてから、
透明レジンをモールドに全て注ぐ。
※円の中心がモールドの中心に来るように
※レジンの粘度が高いと気泡が抜けづらくなるため早めに



⑥モールドのフチを竹串でなぞり気泡を取り除く

※モールドの端に気泡が入るとバリになってしまう
※強くなぞるとモールドを傷つけるので注意

⑦中心にガラスフレークを入れる

竹串でしっかりとレジンに沈ませる。
※モールドの底面が作品の表面になるため

⑧10ｇのレジンに着色する

アクリル絵の具の場合⇒大豆2個分位
マイカパウダーの場合⇒混ぜ棒先端1㎝に山盛り３～４杯
（色によって差有り）
※エポキシアートキットにはアクリル絵の具のみ在中
※着色剤を入れすぎると、レジンが重くなり沈み込み、
作品の表側に強く出るので注意
※青系の着色剤はレジンの硬化を早める性質があるので
青より遠い色から着色する。 例）ピンク→緑
※着色剤を混ぜてからは硬化が早いので注意

⑨着色したレジンをチャック袋に入れる

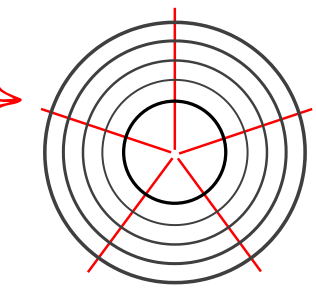
※袋に入れる前にしっかりと混ざっているか、確認
※少し多く作っているので、多少カップに残っていても十分足りる
チャック袋の角をはさみで切り、1mm程の真っ直ぐな線が書けるか試す。
※太い事も、沈み込みの原因

⑩チャック袋を絞り袋にする

チャック袋の角をはさみで切り、1mm程の真っ直ぐな線が書けるか試す。
※太い事も、沈み込みの原因になる

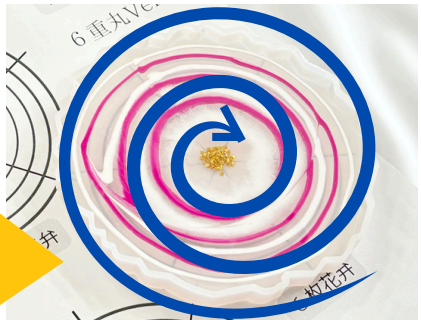
⑪透明レジンの粘度を確認し ハチミツくらいになったら線を描く

下書きシートの線を目安に、
中心から１色目→２色目→１色目と交互に円を描く。
※はちみつ位とは…混ぜ棒でレジンをすくい上げ、垂れたレジンがとぐろを巻きながら落ちる程度
※必ず立って真上から見て作業する（座ってやると中心がズレる）
※下書きシートの直線部分から書き始めるのがおすすめ



⑫花弁の奥行き感を出すためにヒートガンで風を当てる

色付きレジンの線幅を太くするために
”高温/弱風”で外側から内側に向かって風を当てる。
１，初めはモールドから距離を取りながら風を当てる
※1回目の風でいきなり、線幅を広げようとすると失敗する
２，レジンが温まり、粘度が緩んだら、線幅が広がるように風を当てる
※線幅が2～3㎜になったら風を止める
Point：自然にレジンが中心に向かって動くので奥行きが出る



線幅が太くなってきた状態

⑬竹串で筋を通す

下書きの直線に沿って、外側から内側に向かって竹串を通す。
※沈み過ぎたカラーレジンをすくうように通す
※中心のガラスフレークが動かない用に注意する
※1回1回竹串に付いたレジンは拭き取る
※中心を渦巻き状に竹串を通すのもオススメ
※(各花弁の中心線に)
　内側から外側に向かって竹串を通すと花びらの形変わるので、お好みで

⑭約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。

⑮完全硬化後にモールドから外す

約２日後、完全硬化したらモールドから外す。
バリがあった場合は取り除く。
バリ取り→バリのできた部分のみヤスリがけする。
※表面はキズが付き白くなってしまうので注意。

アクリル絵の具 Ver.

マイカパウダーVer.

3Dフラワー完成！

※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます
※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます
※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒

LINE

Instagram

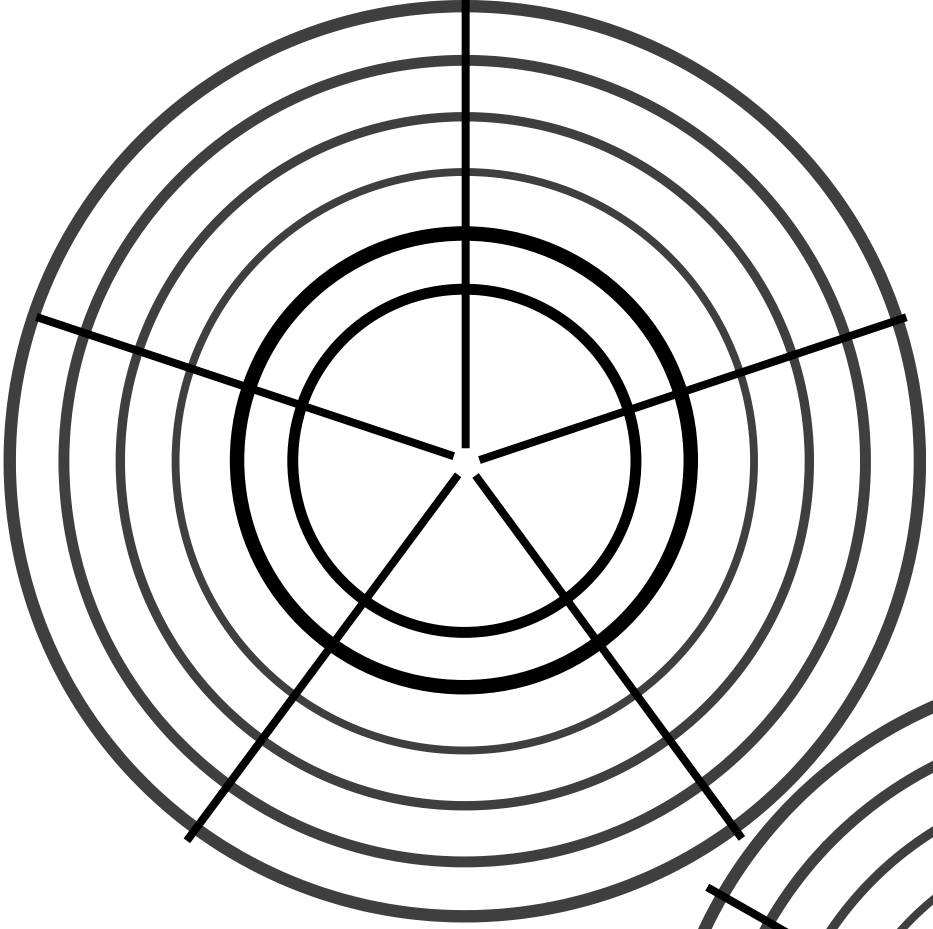
ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～

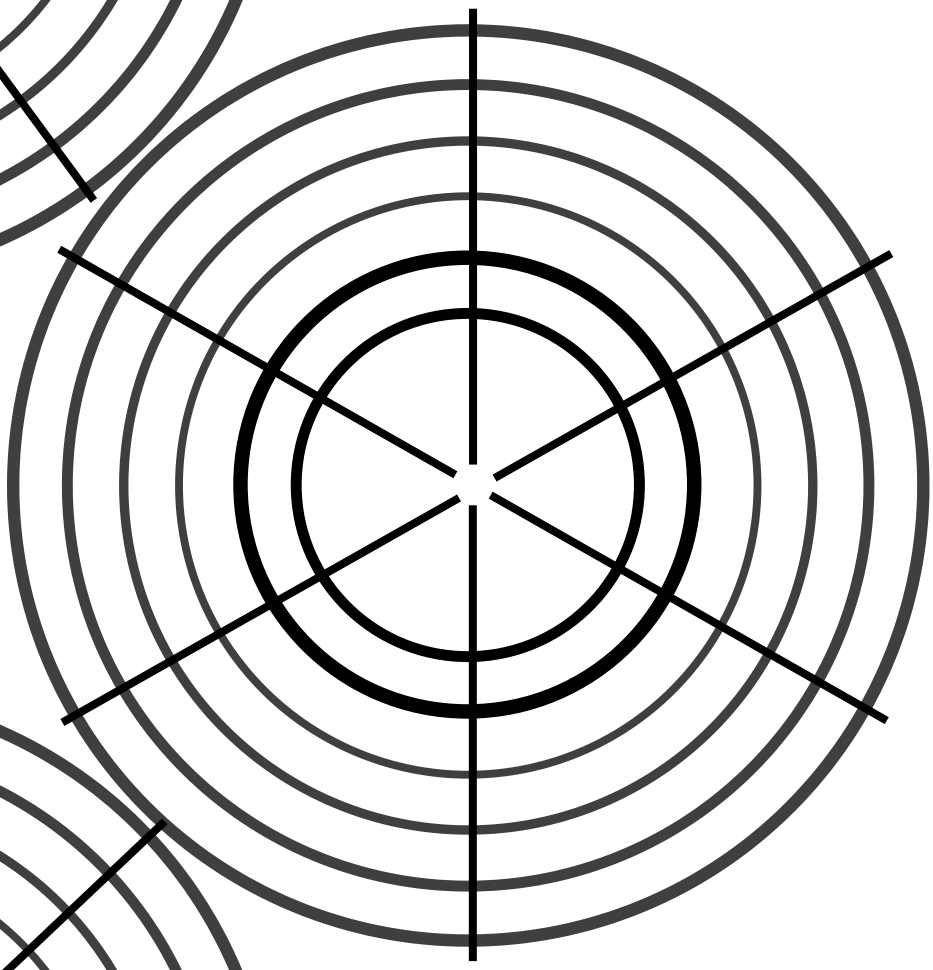
オリジナル材料
その他材料の購入はこちら⇒

Mstore

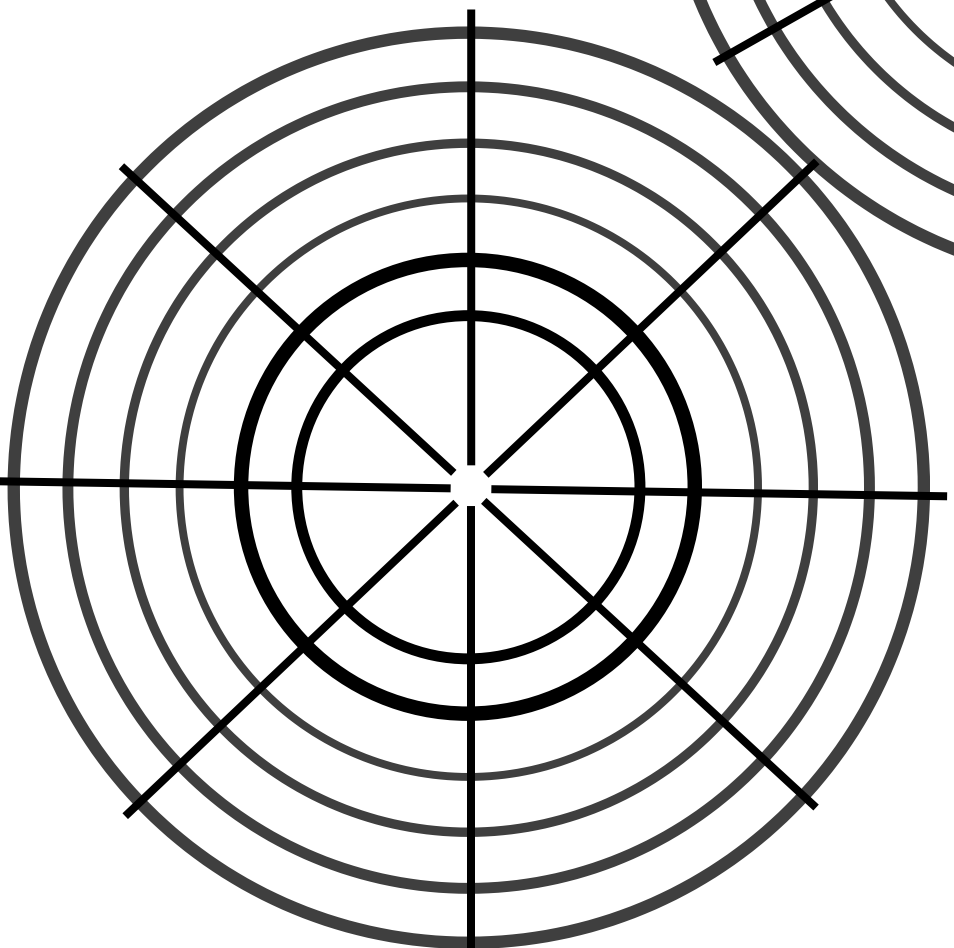
❀３Ｄフラワー❀
下書きシート



← ５枚花弁



６枚花弁→



← ８枚花弁